



# 日本は何位？～世界経済フォーラム「ジェンダー・ギャップ指数 2018」より

世界経済フォーラムが2018年12月に「The Global Gender Gap Report 2018」を公表し、その中で、各国における男女格差の度合いを示す「ジェンダー・ギャップ指数」を発表しました。この指数は、経済、教育、健康、政治の4つの分野のデータから作成されています。

さて、この指数における世界ランキング、日本は何位でしょうか？2018年の日本の順位は149カ国中110位でした。(前年は144カ国中114位なので少し順位が上がりました)

各分野における順位は次のとおりです。

経済分野：117位、教育分野：65位、健康分野：41位、政治分野：125位  
前年に比べ、経済分野のスコアが大きく上昇しており、これは労働参加率の男女比や同一労働における賃金の男女格差などが改善したことが要因です。しかし改善したとはいえ、収入面での男女格差が大きいこと、管理職ポジションに就いている男女の人数の差が大きいことが影響している順位となっています。政治分野では女性議員、女性閣僚の比率が低いこと、女性首相の在任期間がないことが影響しています。教育・健康分野では他の多くの国も同水準に達しているため全体的に差が小さい状況です。

それでは世界から名寄市に目を向けてみましょう。  
名寄市では、第2次名寄市男女共同参画推進計画において、「あらゆる分野における男女共同参画社会の推進」を基本目標の一つとしており、「政策・方針決定過程への女性の参画拡大」「家庭や地域社会における男女共同参画の促進」「男女が働きやすい環境づくりの推進」を主要施策としています。  
男女共同参画社会の実現のためには、行政と市民、事業者、関係機関が連携し、積極的な取り組みを進める必要があります。市民の皆さまには今後とも一層のご理解とご協力をお願いします。

上位国および日本の順位	
1位	アイスランド
2位	ノルウェー
3位	スウェーデン
4位	フィンランド
5位	ニカラグア
：	：
110位	日本

問い合わせ 企画課男女共同参画担当(名寄庁舎3階) ☎01654③2111(内線3309) ✉ny-mwkyodo@city.nayoro.lg.jp

## 住宅用火災警報器の点検を！ ～その警報器、10年以上経っていませんか？～

## 名寄市 消費生活センター通信

問い合わせ 消費生活センター ☎01654②3575



- ①10年前に設置義務化されたときに購入した火災警報器の電池が切れた。電池だけの交換は不可能という。(70代男性)
- ②築10年の住宅に設置された火災警報器からの警告音が止まらない。対処法は。(70代女性)



### ◆電池交換できない火災警報器もあります。

①の回答として、火災警報器の中には電池交換できないものもあります。警報器には電池切れやセンサーなどの故障を確認できる機能があります。取扱説明書の動作確認や定期点検の項目に従って点検してください。

### ◆定期的に点検・手入れを行いましょ。

見た目は異常が無くても、内部のセンサーや部品は消耗・劣化していきます。本体の寿命は10年とするものが多くみられます。寿命を迎えたものは本体を交換しましょう。

### ◆警報器の取り付けや点検の際には、転落・転倒などのけがに注意しましょう。

### ◆困ったときは、名寄消防署(☎③3319)か消費生活センターに相談してください。



困ったときは消費生活センターに相談ください。

くらしの危険

最新号やバックナンバーはこちらからご覧いただけます。

公式サイト「くらしの危険」コーナー  
<http://www.kokusen.go.jp/kiken/index.html>

